

ざいげん せい ど しゅうち じゅうじつ 財源と制度・周知の充実を



地域にほんご教室研修

日台交流の重要性と多言語化対応の現状は

台湾企業の進出もあり、今後も町内外国人は増加していくものと思つて。

これまでの姉妹都市交流や町内に居住する様々な国の方のサポートや今後の事業展開は。

コロナ禍で滞っている国際交流の再開や台湾との重点交流を検討している。

また県と連動した「地域にほんご教室」を通じて外国人住民との交流促進や多言語対応に取り組む予定。

コミュニティ活動を支える傷害保険の重要性

地域のコミュニティ活動は重要性を増している。活動のケガ等を補償する「コミュニティ傷害保険」があるがその実績は。また重大な事故は無かったか。

「刈払い機による窓ガラス損傷」等軽易なものが3件、「交通安全運動期間に安全指導中飲酒運転のトラックにはねられる」等重大なものが2件あった。

意見 事故の内容によっては後遺障害が残る場合もある。対象となる事故や金額など補償内容の見直しを検討してほしい。



しゃかい すすむICT・DX社会に

総務委員会レポート



スマートフォンでも簡単申請

マイナンバーカードの普及啓発の取り組みは

マイナンバーカードの普及率が伸びないのはメリットや必要性がわかりにくいからではないか。

マイナンバーカードは行政の効率化、国民生活の利便性向上が目的である。今後はDX推進も計画されているので商業施設等での申請サポートなど環境づくりを目指していきたい。



特殊なデザインの街灯

LED化が進む街灯で改修困難なものは

街灯防犯灯がLED化されて好評を得ている。光熱費の縮減もできている一方、町内にはLED化が難しい街灯があるとも聞く。対策は。

街灯の光熱費については月15万円、年間200万円の費用節減につながっている。

一方、役場北側の県道大植木線沿いや美咲野地区等に特殊なデザインの街灯があり、個別に検討しLED化を行っていく。



男女共同参画推進と町の管理職登用率は

「男女共同参画推進プラン」が示されているが、役員職員における管理職の女性比率の目標設定は。

女性の管理職登用率は20%を目標に設定しており総務課が策定する他の計画でも同じく20%としている。

令和4年3月時点での女性の管理職登用率は17.9%となっているが、係長級の登用率は46.4%で今後は経験や年月を経て登用は進んでいくものと考えている。



オンライン議会の試行の様子

オンライン議会の推進とあらたな問題点はないか

今回試験的に、総務委員会ではオンライン形式での審査を行ったが、設定・準備はどれくらい時間が必要か。

必要な通信環境、パソコンの準備、Zoomの設定などが必要。今回はあらかじめの用意もあり5、10分程度で準備が完了した。

意見 突発的な事態に際し委員会が対応できるかが重要なので成果をしっかりとまとめたい。

企業誘致は

工場等振興奨励補助金の補助額は、他の市町村に比べて高いのか。企業誘致するにあたって、企業側が立地先を選択するうえで影響はないか。

近隣市町村ともあまり差がない内容となっているが、企業誘致にあたってのインセンティブになるので、今後更なる見直しを検討し、町の優位性をもって企業誘致に取り組む。

おおづまちから 大津町はどのように変わるのか



町の全景写真

駅周辺の開発は

旧57号とバイパスを繋ぐ道路が少ないことで住民は困っていると思うが、駅周辺整備の中でこのような道路整備の考えはないか。

線路の上を越すオーバークロスや下を潜るアンダーパスなどを考えたが、道路構造令等の基準に合致せず、維持管理費がかかるため、新しいルートを検討も含めどのように行うか考えていく必要がある。



駅周辺

空港アクセス鉄道は

JRの空港アクセス鉄道は肥後大津駅からの分岐になる可能性があるため、道路整備との一体性が必要だと思うが、一般財源1,700万円を補正するにあたり、無意味なものにならないようにしてほしい。

判断のタイミングは難しいが、県にアピールする場面でもあり、大津町の玄関口として今後活かすような町のPRも駅周辺を含めて進めていく。



肥後大津駅北口

雇用の確保は

雇用確保推進事業が行われているが、これは2次産業だけに限らず、1次産業、3次産業においても取り組まなければならない。中学生、高校生にも選択肢を与え人材確保に取り組むべきではないか。

現在、広報誌で「おおづのしごと」として企業紹介を行なっているが、以前は農業者や商業者の紹介も行っていた。その他、異業種交流やゲストティーチャーとして学校での農業の授業などにも取り組んでいたことから、今後は全産業の紹介についてしっかりと取り組んでいきたい。



企業ガイダンス

埋設管下の湧水は

町道駅前楽善線歩道補修工事で管を歩道下に通して排水させているとのことだが埋設管下の湧水は問題ないのか。

事前ボーリング調査で水がある層を把握しており、同じ高さに単粒砕石で有孔管を巻き込んで排水させる構造なので問題ない。



町道駅前楽善線歩道

工業用水道の給水能力は

新たに進出する企業のために給水する能力はあるか。

現在、4つの水源地の給水能力は1日に4,700tで、中核工業団地内に立地している企業でほぼ限界となっている。新たに水源地を設置して給水量を増やすことは可能と思われるが、下水道の処理能力が不足しているため、長期計画の中で検討していく。



工業用水道施設

経済建設委員会レポート

はんどうたい かんれん きぎょう しんしゅつ 半導体関連企業の進出で

文教厚生委員会レポート

ちょうみん あんしん 町民が安心できる



給食を食べている園児

安定した給食の提供を

町内保育所等への給食費補助について、10月以降、様々な食材の値上がり懸念されるが、今回の補助で十分か。

また、補助はいつからか。

今回の補助は、学校給食センターと同様に、主な食材の昨年度価格と比較し算出している。

各園に間いても経営に影響するほど厳しい状況ではない。補助は、今年度分を交付する。

ふくし きょういくかんきょう こうちく 福祉と教育環境の構築を

近隣の市町が実施している「運転免許証自主返納者への特典」

市町名	サポート内容
菊池市	市内共通商品券「めぐるん券」(1,000円相当)もしくは「ベンリカー/あいのりタクシー共通乗車チケット」(1,000円相当)の交付。
合志市	コミュニティバス回数券(自主返納者無料乗車券10枚入り10セット)を1回限り交付。
菊陽町	運転経歴証明書 の交付に係る申請手数料に対する補助金を交付。(補助金の額は1,100円) タクシー利用券3,000円分を1回限り交付。(県内のほとんどのタクシー事業者で利用可。)

※熊本県ウェブサイト「運転免許証自主返納者への特典」(令和4年3月現在)のご紹介から抜粋

免許返納者への支援が必要ではないか

近隣自治体では免許返納者に対し、タクシー券の補助などをおこなっている。町としても同様の支援が必要ではないか。

免許返納者には公共交通機関が利用できる人がいるが、近隣自治体で一時的な支援を実施している例があるので、今後、検討する必要がある。



ふくさと総合健診

受診率向上に向けた取り組みを

「ふるさと総合健診」は自営業の人などが対象となるが、仕事で都合がつかない方などから、早朝健診などの要望はないのか。

健診時間は朝7時から開始しており、他市町でも同様の取り組みをしている。今後、県による医療機関での個別受診を進める計画があるため、選択肢が増え、受診率向上に繋がる。

児童の放課後活動を充実したものに

児童スポーツクラブの活動状況と、保護者の評価は。

延べ174人の子どもたちが活動しており、支援の必要な子どもたちにはスタッフの数を増員して対応している。

また、保護者アンケートの意見として、「活動を楽しみにしている」「やりたいスポーツが見つかり、クラブチームへ行くことになった」など、好評な意見が多数あった。



児童の放課後活動



日本語指導教室

外国の子どもたちの受け入れ体制強化を

日本語指導とは具体的にどのような事業か。

また、他の自治体はどのような対応をおこなっているのか。

外国にルーツを持つ児童生徒に、NPO法人による日本語指導を1日2時間、週2日程度、別室にておこなっている。

菊陽町では県から配置された職員による日本語指導教室を設置している。本町においても、児童生徒が一定数いることから、県職員の配置を要望していきたい。

指定管理導入に向けて持続可能な施設整備を

町は照明のLED化を進めているが、山村広場のナイター照明をナトリウムランプに交換するのはなぜか。

LED化が必要な施設が複数ある。今回は指定管理導入に向けた応急的な対応だが、今後、町によるLED化を計画的に進めたい。



山村広場ナイター照明